


Knighton, Tamara, and others (2009). Lifelong Learning Among Canadians Aged 18 to 64 Years: First Results from the 2008 Access and Support to Education and Training Survey, Statistics Canada Catalogue no. 81-595.


個々人が持っている知識や能力を資産（人資本）として見ようとする考え方は１８世紀まで遡ることができる。しかし、人資本は、定義することなく測定することも難しいものである。政策当局者にとって、経済成長させるにはどうすべきか、労働市場を活性化するにどうすべきかということについてより深く理解するために、人資本を理解し数値化する方法を求めている。それは、その国の長期にわたる持続的な成長経路を想定するためであり、また、教育部門の成果及び生産性を測定するためである。人資本が先進諸国の全資本ストックの中で最も重要な要素であるという研究があるように、人資本ストックの貨幣評価のために頑健な手法を考案することは特に重要である。

人資本の測定に関する指針は、概念上の、方法論上の、そして、作業上の論点及び今後の課題について述べている。この指針は、経済をもってわかつて比較することを可能にしている国民経済計算の原則と整合的な方法で、人資本を推計し記録する方法を示している。

この指針は、教育訓練サテライト記述の開発を提案するとともに、人資本を、国内総生産、投資、消費、貯蓄及び国富の価値と対比させることにより、その大きさを明らかにする事例を提供するものである。この指針は、人資本が特定の国においてどのように測定されてきたか、そして、人資本の国際比較が行われてきたかについて、さらにいくつかの事例を提供している。この指針は、各国の統計局が、どうすれば人資本サテライト記述の構築に取り組むことができるかについても示している。